

活躍する西高生

京都新聞

令和3年9月16日（木）掲載

「不思議な生態」動画作成

オオミズナギドリ

西舞鶴高生ら冠島調査 鳥・島の魅力発信



動画をスクリーンに映しながら、オオミズナギドリについて紹介する深井さん(左)と教員—舞鶴市引土・西舞鶴高

動画は、生徒も参加した一昨年の調査で教員が撮影した映像などを約6分に編集し、日本語版と英語版を制作した。

日没前にオオミズナギドリが島に帰る際、上空を旋回する行動や集団で上空に舞い上がる「鳥柱」の現象に触れ、「不思議を感じる」と説明。鳥に識別番号のリングを付ける調査では30歳以上の鳥を見つけて「先輩、失礼しました」と感じた生徒の率直な体験も盛り込み、雄と雌の鳴き声の違いも解説した。

舞鶴市の西舞鶴高の生徒と教員が、同市沖に浮かぶ冠島でのオオミズナギドリ調査に関する動画を作成し、公開している。新型コロナウイルス禍で島の調査が中止される中、不思議な生態の鳥や島の魅力を広く発信しようと企画した。

冠島は周囲4キロの無人島で、オオミズナギドリの繁殖地として国の天然記念物に指定されている。市が春と夏に鳥類専門家らでつくる冠島調査研究会と生息状況を調べている。同高は冠島調査グループをつくって春の2泊3日の調査に毎年参加してきたが、今年は中止となったため、メンバー6人は研究会の須川恒会長からオンラインで講義を受けるなど理解を深めてきた。

英語のナレーションを担当した3年深井悠楽さん(18)は「鳥の大きさや自然そのままに近い島の姿に驚いた。身近にある素晴らしい環境を知ってほしい」と話した。動画投稿サイトで公開中で、日本語版のアドレスは <https://youtu.be/g48MY2W8yX0>

(秋田久氏)

京都府立西舞鶴高等学校